

# 市内中小企業景況調査報告書

令和元年 9月～12月 実績

令和2年 1月～4月 見通し

令和2年 1月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

## III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

# I 調査要領

## 1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・製造業 80企業
  - ・卸売業 50企業
  - ・小売業 68企業
  - ・サービス業 102企業
  - ・建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和元年11月29日
- ・調査票回答期限 令和元年12月26日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	80	44	55.0%
卸売業	50	23	46.0%
小売業	68	22	32.4%
サービス業	102	36	35.3%
建設業	100	44	44.0%
合計	400	169	42.3%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

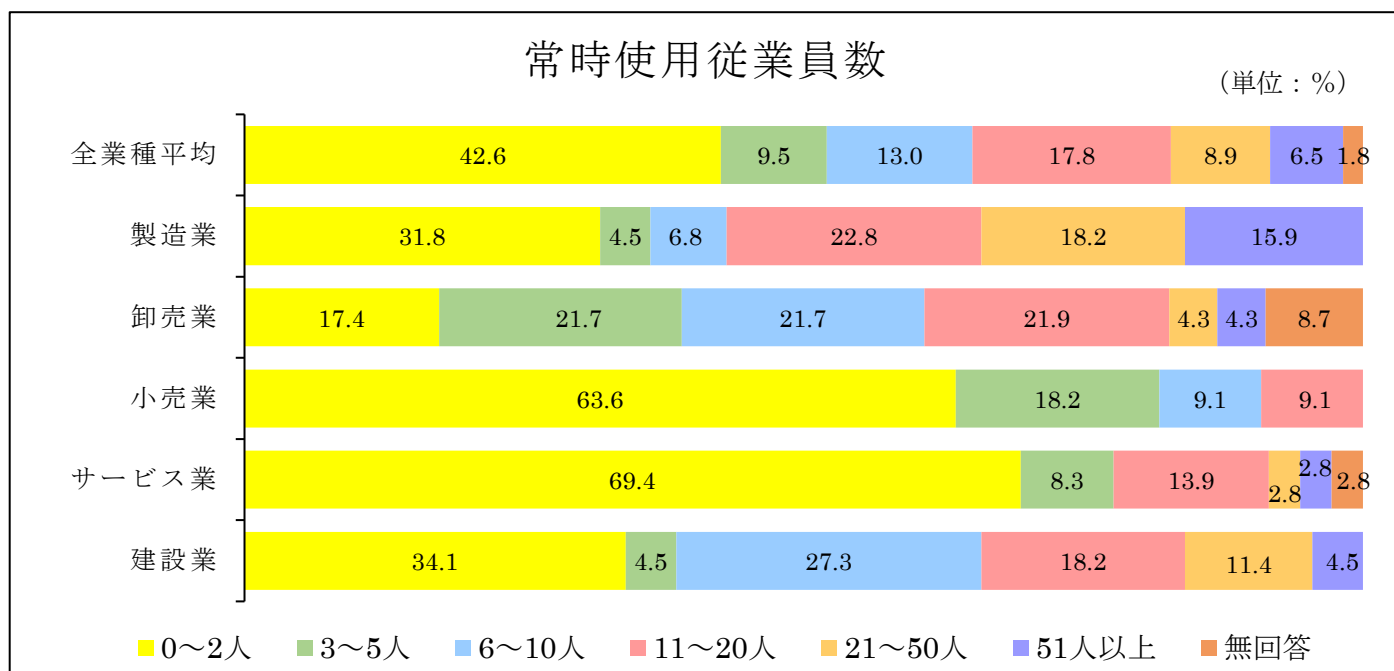
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和元年8月（令和元年5月～8月）を示し、「前年同期」とは、平成30年12月（平成30年9月～12月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約83%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業況

内閣府が発表した月例経済報告（令和2年1月発表）によると、個人消費は持ち直し、設備投資は緩やかな増加傾向にあるものの一部に弱さが見られる。雇用情勢は改善しているが、生産は一段と弱含んでおり、企業収益は高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重さが増しており、景気は輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和2年1月発表）によると、生産活動は下方修正となった9月発表以降「弱い動きとなっている」との判断が続き、個人消費も9月以降「一進一退となっている」との判断が続いている。住宅建設においても、9月以降「弱まっている」との判断で、公共工事においては、市町村は前年を下回ったものの、国・道は前年を上回り、全体では7ヶ月連続で前年を上回っており「増加している」との判断となった。民間設備投資は引き続き「増加している」との判断で、雇用動向も引き続き改善し、有効求人倍率も118ヶ月連続で前年を上回

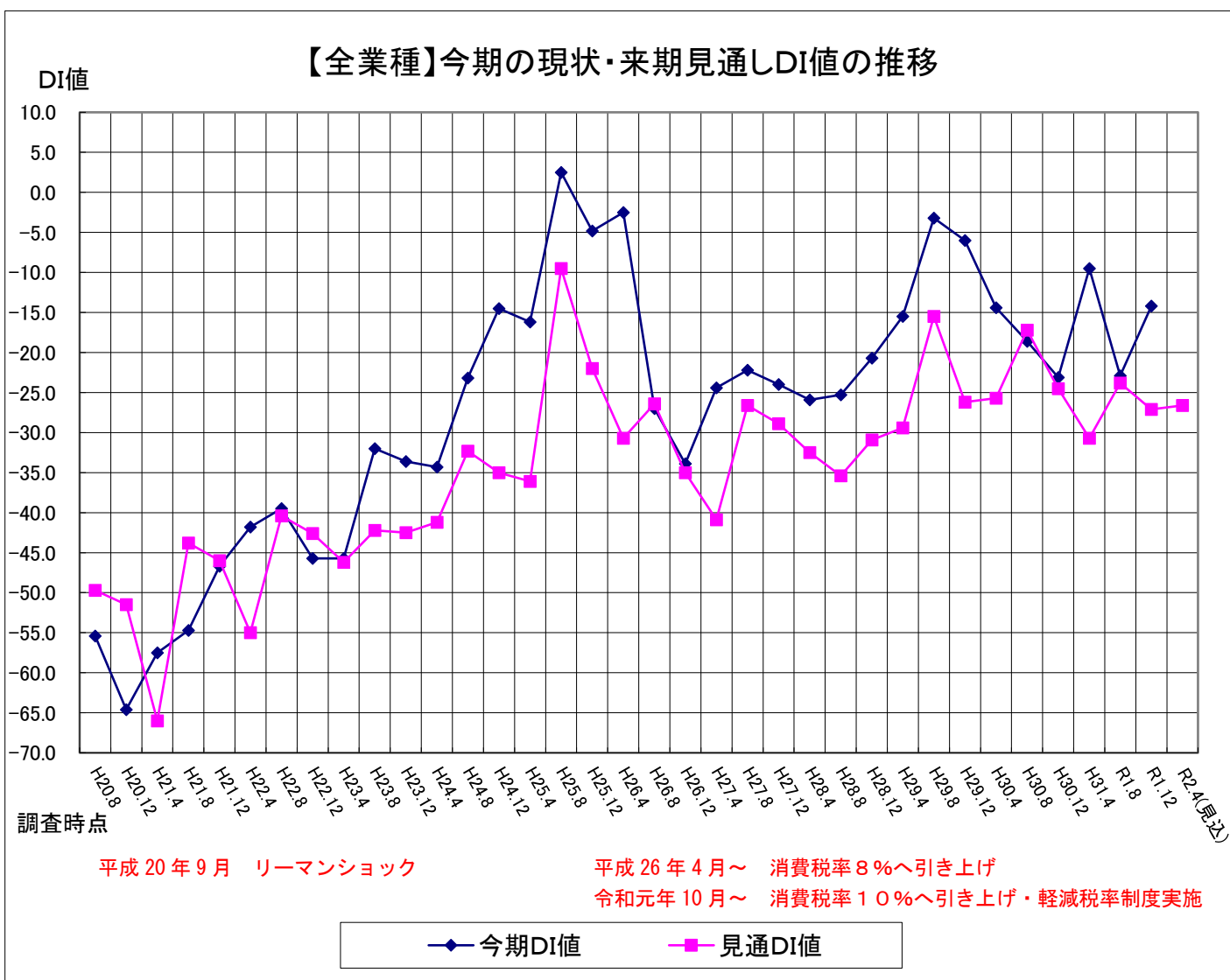
った。企業倒産は件数では減少しているが、負債総額は増加している。全体として、道内経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、足踏み状態となっており、先行きについては、消費税率引き上げに伴う影響のほか、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和元年9月～12月）では、全業種平均の今期業況DI値は△14.2と前回（令和元年8月期）△22.9に比べ8.7ポイントの改善となった。業種別に見ると、製造業で10.9ポイント、卸売業で39.3ポイント、小売業では16.8ポイントの改善となったものの、サービス業では3.5ポイント、建設業では4.6ポイントの悪化となった。また、今期業況DI値を前年同期（平成30年12月期）の調査結果と比較すると、建設業で4.6ポイントの悪化、製造業でほぼ横ばいとなったほかは、卸売業で23.6ポイント、小売業で13.3ポイント、サービス業では12.3ポイントの改善となっており、今期の景況感は業種によってばらつきが見られる。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると、製造業で9.1ポイント、卸売業で8.7ポイント、小売業で31.8ポイント、サービス業で2.9ポイント、建設業で15.8ポイントとすべての業種において悪化の見通しとなっており、景況の先行きに対しては総じて慎重な見方となっている。

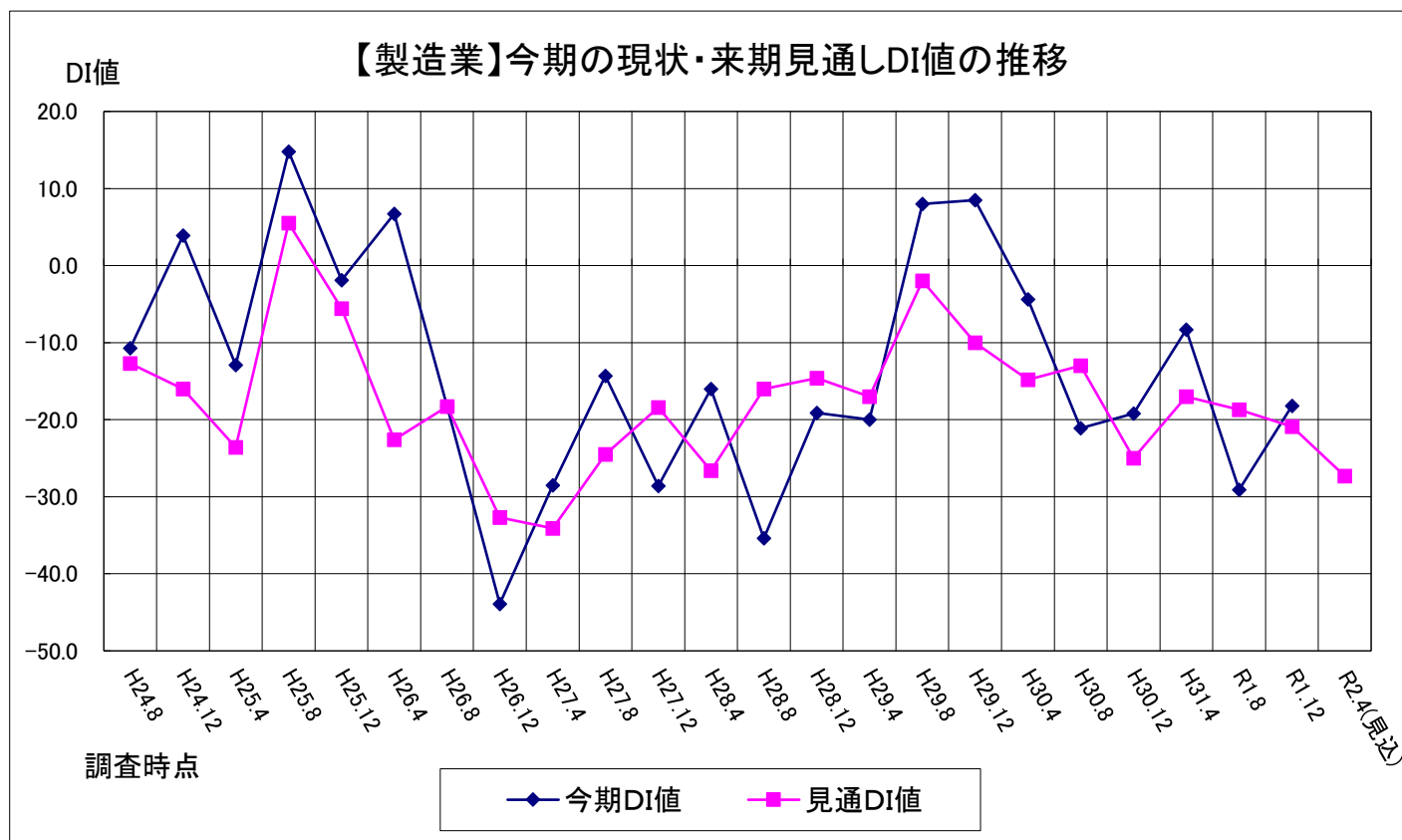
### 全業種平均

- ・今期DI値は△14.2となり、前回より8.7ポイント、前年同期より8.9ポイント改善。
- ・来期DI値は△26.6となり、今期より12.4ポイント悪化。



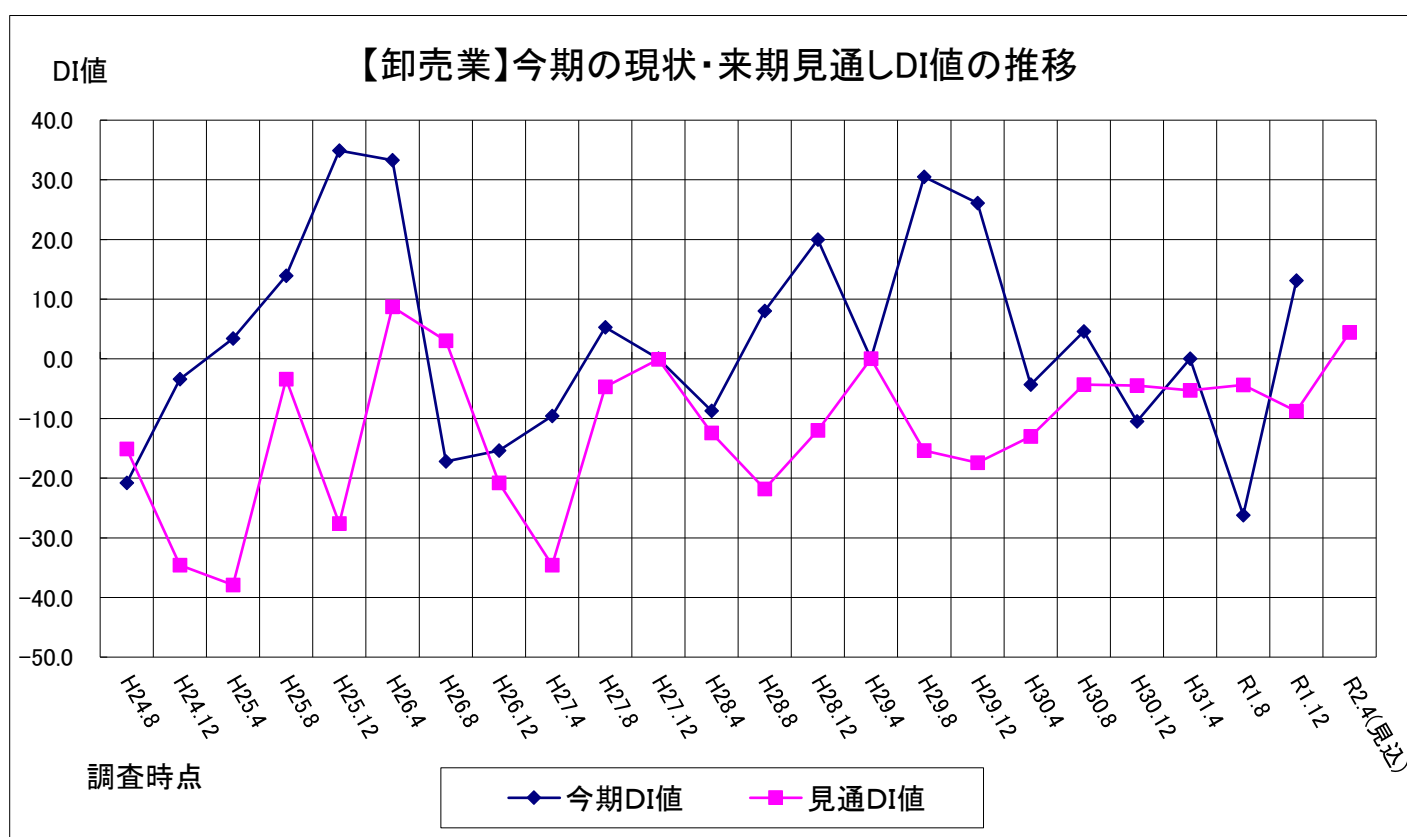
## 製造業

- ・今期D I値は△18.2となり、前回より10.9ポイント、前年同期より1.0ポイント改善。
- ・来期D I値は△27.3となり、今期より9.1ポイント悪化。



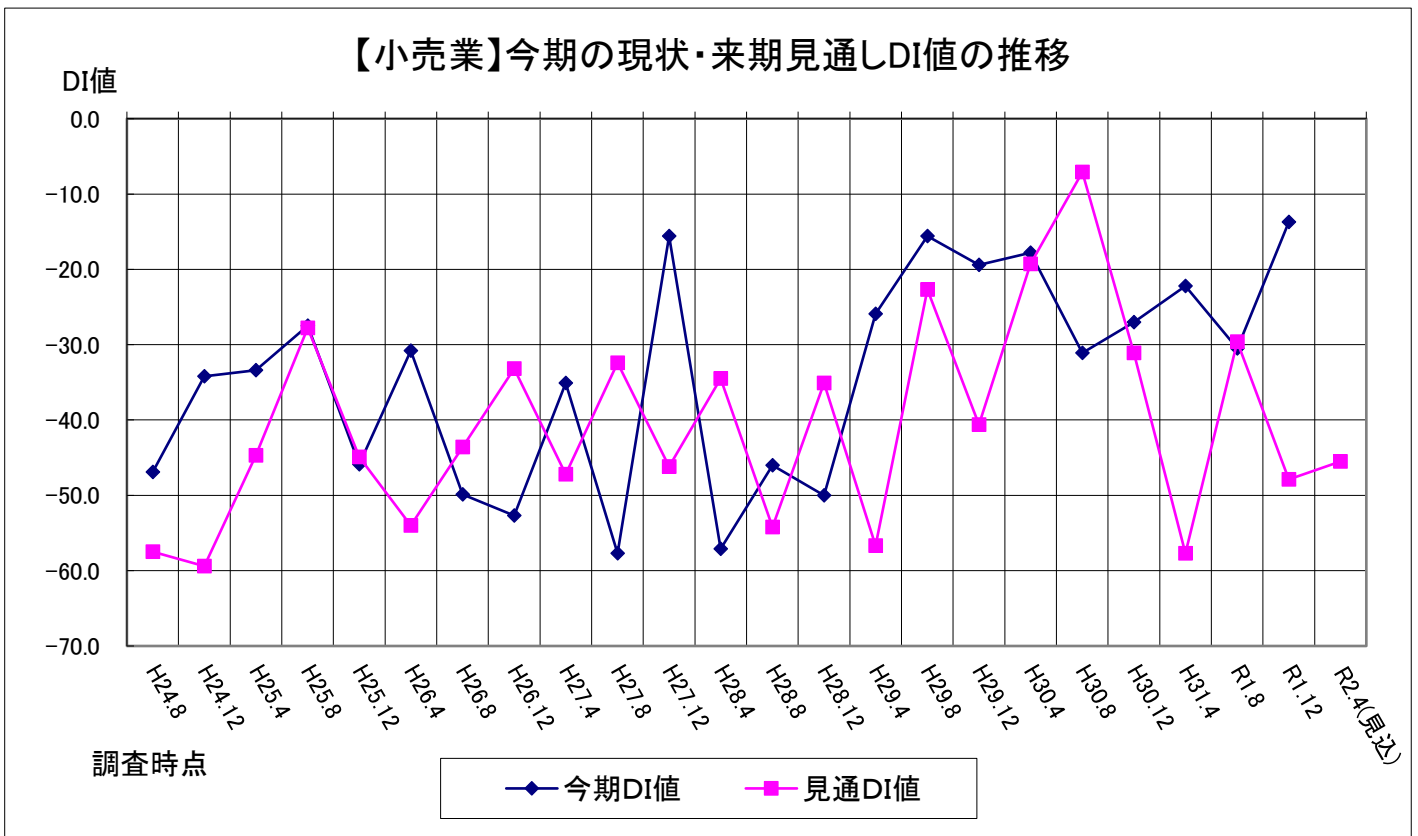
## 卸売業

- ・今期D I値は13.1となり、前回より39.3ポイント、前年同期より23.6ポイント改善。
- ・来期D I値は4.4となり、今期より8.7ポイント悪化。



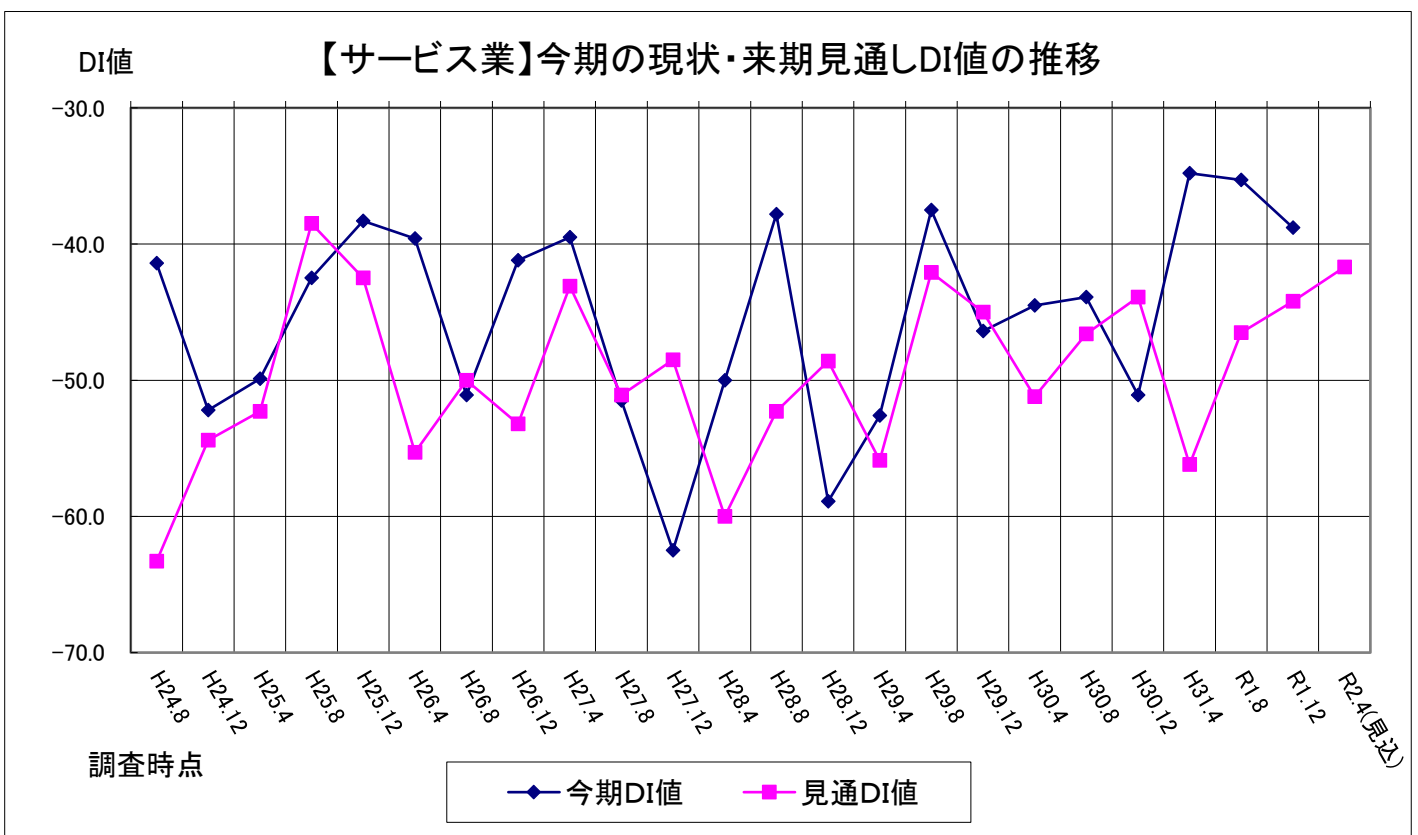
## 小 売 業

- ・今期D I 値は△13.7となり、前回より16.8ポイント、前年同期より13.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△45.5となり、今期より31.8ポイント悪化。



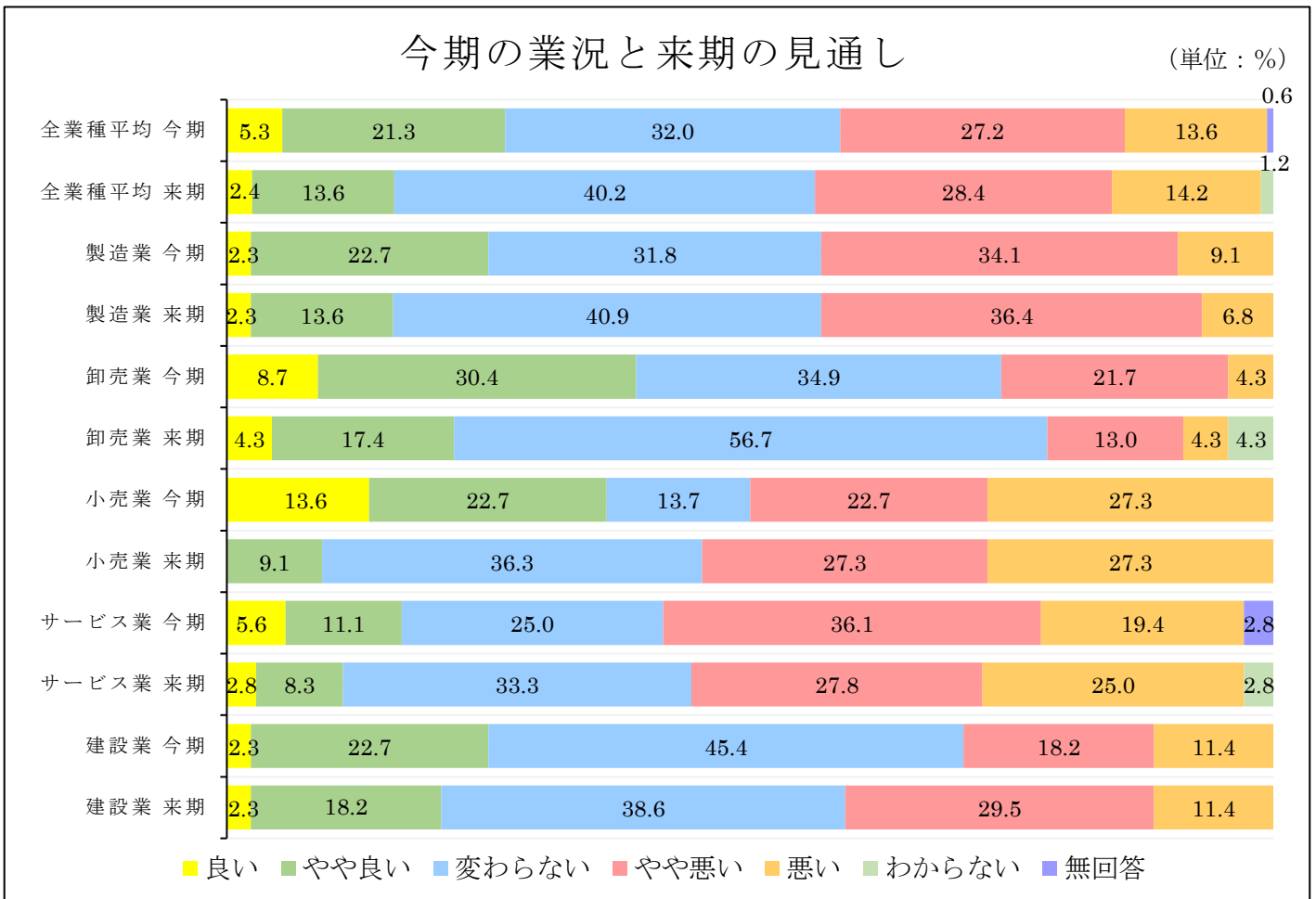
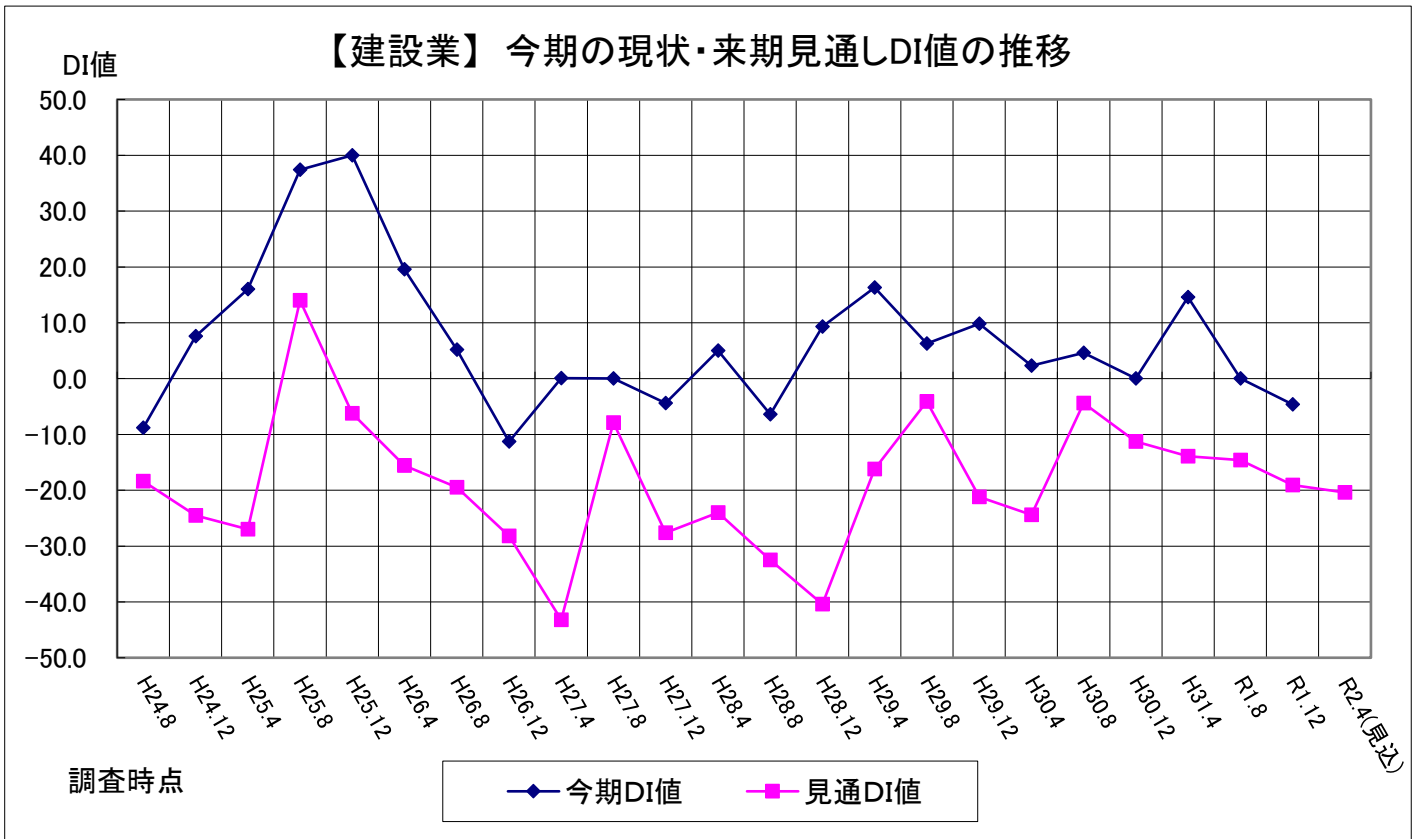
## サービス業

- ・今期D I 値は△38.8となり、前回より3.5ポイント悪化、前年同期より12.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△41.7となり、今期より2.9ポイント悪化。



# 建設業

- ・今期D I値は△4.6となり、前回並びに前年同期より4.6ポイント悪化。
- ・来期D I値は△20.4となり、今期より15.8ポイント悪化。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・今期D I値は△11.2となり、前回より9.5ポイント、前年同期より4.8ポイント改善。
- ・来期D I値は△27.8となり、今期より16.6ポイント悪化。

#### 製造業

- ・今期D I値は△9.1となり、前回より13.8ポイント改善、前年同期とほぼ同水準。
- ・来期D I値は△20.4となり、今期より11.3ポイント悪化。

#### 卸売業

- ・今期D I値は17.4となり、前回より39.1ポイント、前年同期より6.9ポイント改善。
- ・来期D I値は△13.0となり、今期より30.4ポイント悪化。

#### 小売業

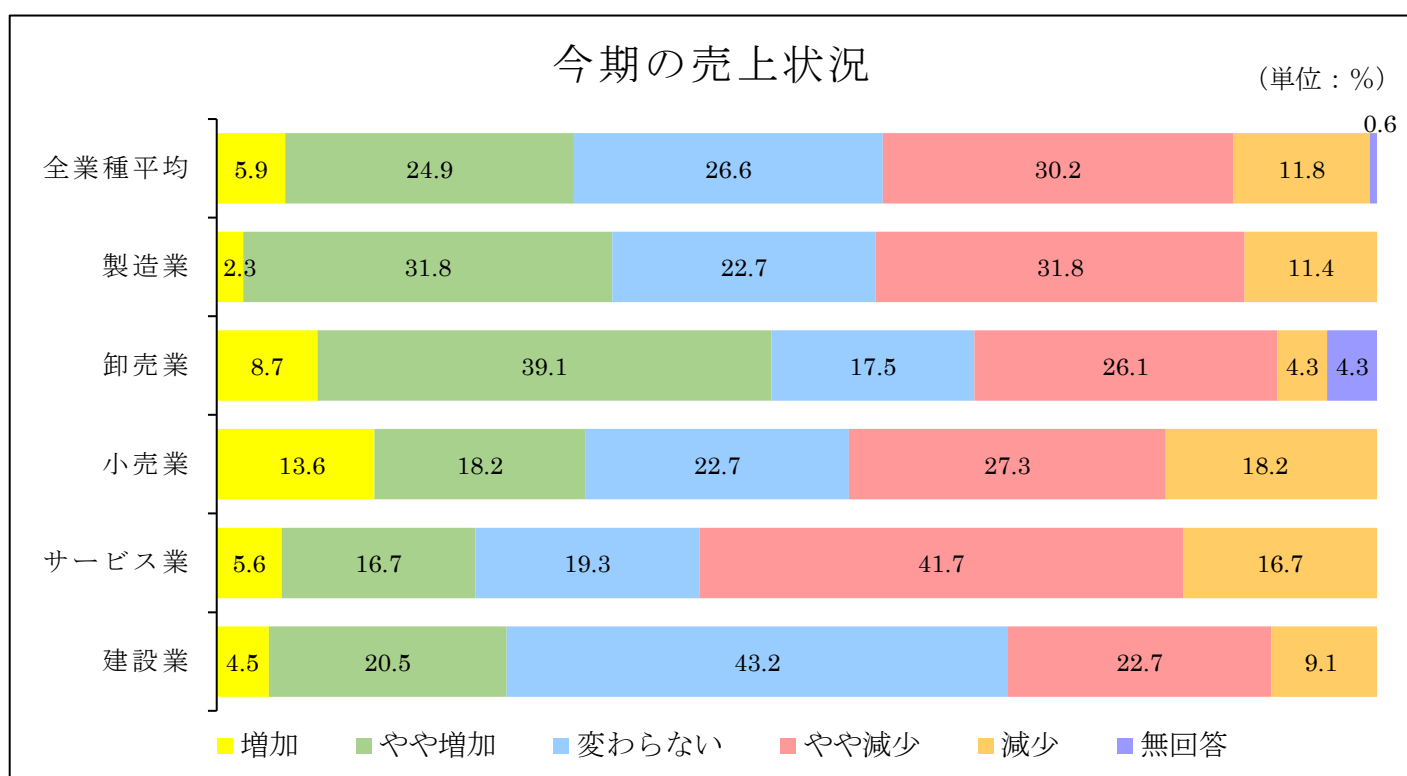
- ・今期D I値は△13.7となり、前回より3.6ポイント、前年同期より5.5ポイント改善。
- ・来期D I値は△40.9となり、今期より27.2ポイント悪化。

#### サービス業

- ・今期D I値は△36.1となり、前回より7.9ポイント、前年同期より15.1ポイント改善。
- ・来期D I値は△44.4となり、今期より8.3ポイント悪化。

#### 建設業

- ・今期D I値は△6.8となり、前回より6.7ポイント、前年同期より9.5ポイント悪化。
- ・来期D I値は△22.7となり、今期より15.9ポイント悪化。



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・今期D I値は△14.2となり、前回より8.2ポイント、前年同期より13.0ポイント改善。
- ・来期D I値は△33.2となり、今期より19.0ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I値は△11.4となり、前回より17.7ポイント、前年同期より9.9ポイント改善。
- ・来期D I値は△20.4となり、今期より9.0ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I値は△4.4となり、前回より13.1ポイント、前年同期より11.4ポイント改善。
- ・来期D I値は△26.1となり、今期から21.7ポイント悪化。

### 小売業

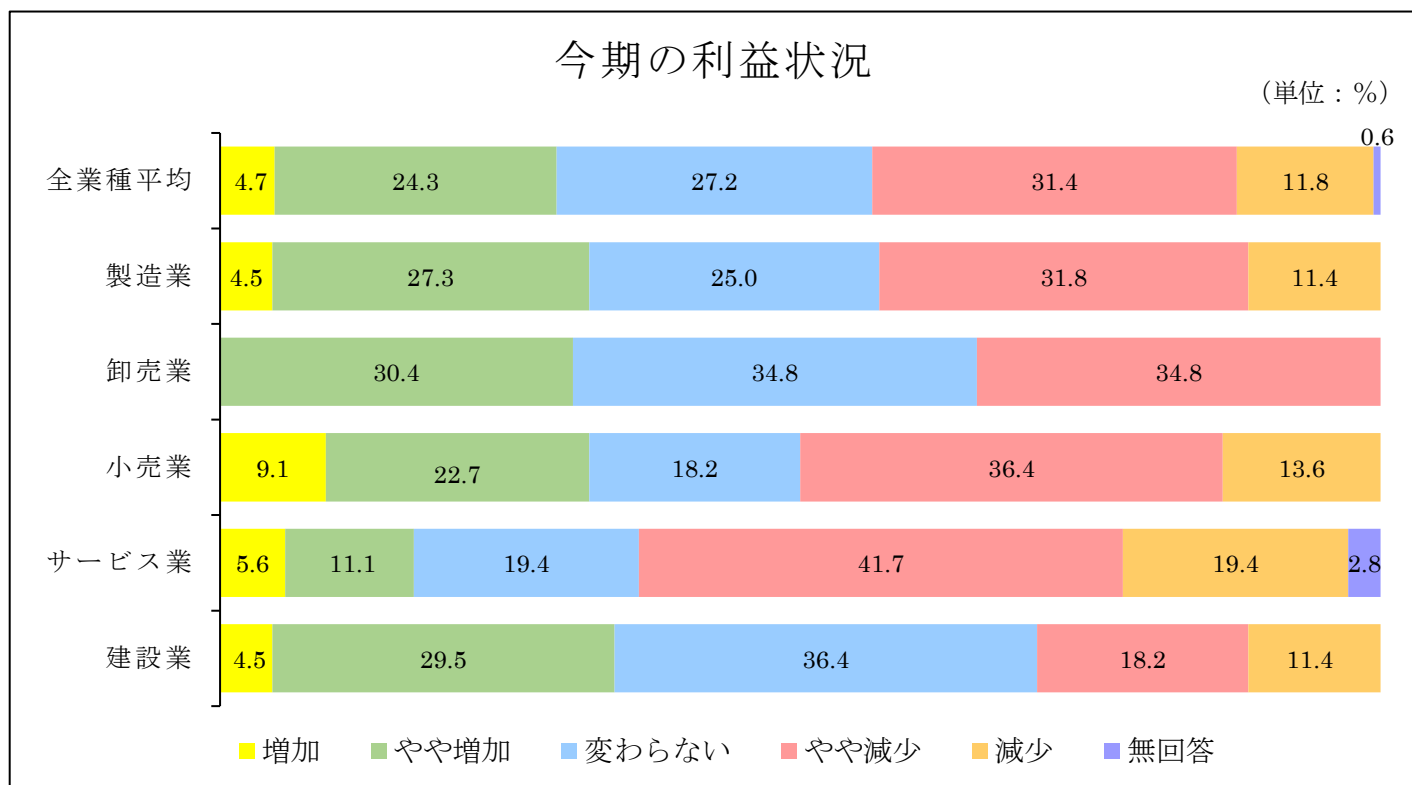
- ・今期D I値は△18.2となり、前回より3.6ポイント、前年同期より16.5ポイント改善。
- ・来期D I値は△50.0となり、今期より31.8ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I値は△44.4となり、前回より12.1ポイント悪化、前年同期より6.8ポイント改善。
- ・来期D I値は△50.0となり、今期より5.6ポイント悪化。

### 建設業

- ・今期D I値は4.4となり、前回より14.0ポイント、前年同期より12.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△27.3となり、今期より31.7ポイント悪化。



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・今期D I値は△2.3となり、前回より10.6ポイント、前年同期より5.4ポイント改善。
- ・来期D I値は△14.8となり、今期より12.5ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I値は2.3となり、前回より12.8ポイント改善、前年同期より2.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△2.3となり、今期より4.6ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I値は4.3となり、前回より26.1ポイント、前年同期より9.6ポイント改善。
- ・来期D I値は△13.1となり、今期より17.4ポイント悪化。

### 小売業

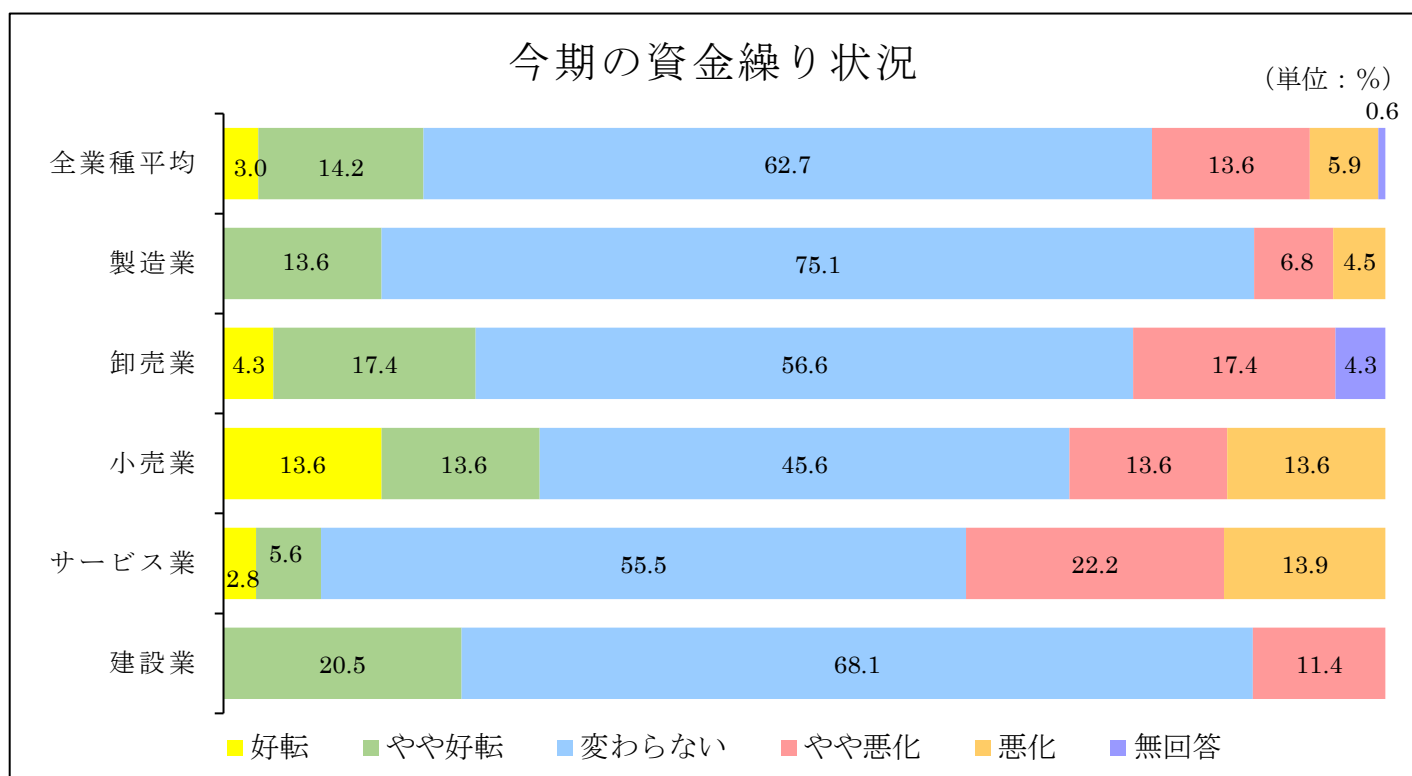
- ・今期D I値は0.0となり、前回より4.4ポイント、前年同期より7.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△18.2となり、今期より18.2ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I値は△27.7となり、前回より7.6ポイント、前年同期より6.5ポイント改善。
- ・来期D I値は△38.8となり、今期より11.1ポイント悪化。

### 建設業

- ・今期D I値は9.1となり、前回より6.7ポイント、前年同期より3.6ポイント改善。
- ・来期D I値は△6.8となり、今期より15.9ポイント悪化。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は32.0%となり、前回より5.5%、前年同期より7.7%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は19.5%となり、今期より12.5%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は38.6%となり、前回より7.2%減少、前年同期より4.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は36.4%となり、今期より2.2%減少。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は47.8%となり、前回より21.7%、前年同期より37.3%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.0%となり、今期より34.8%減少。

### 小売業

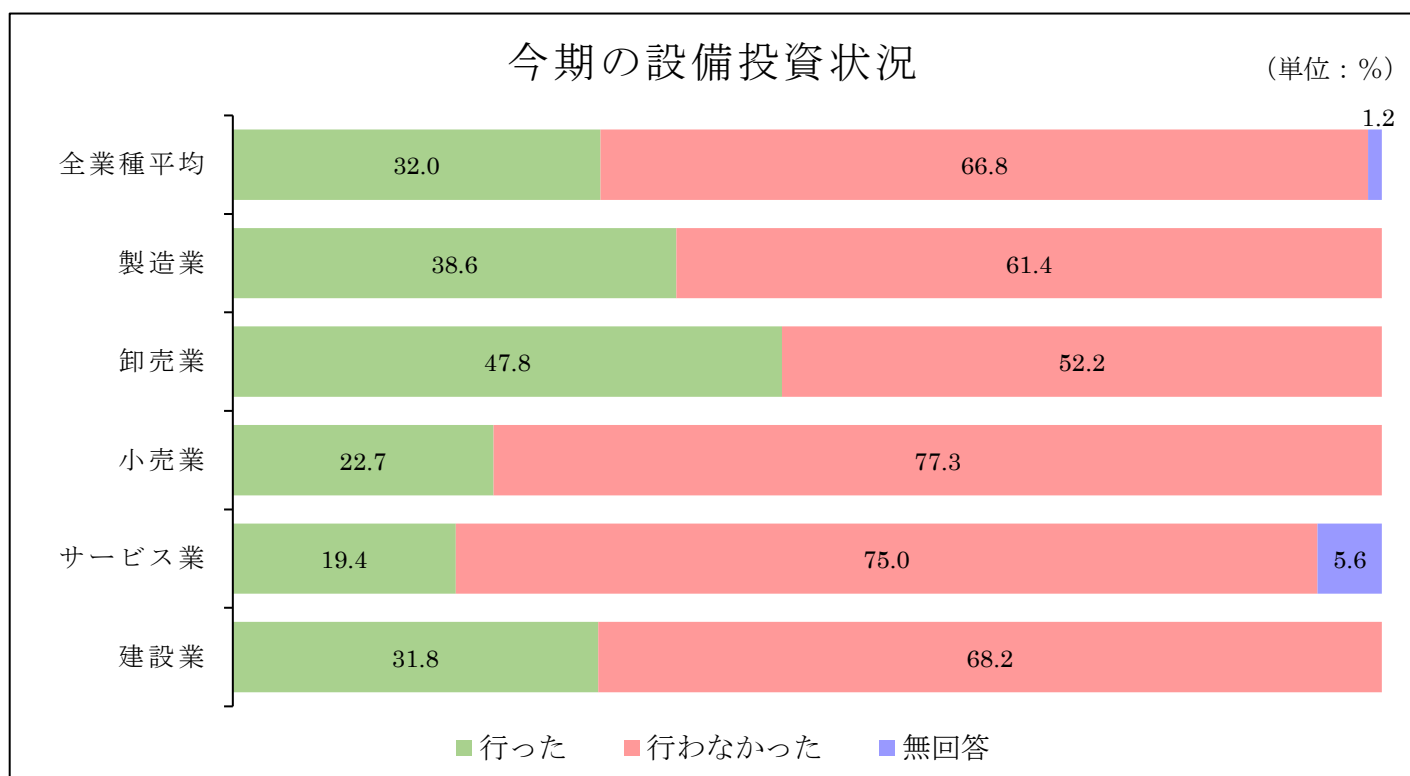
- ・今期に設備投資を行った割合は22.7%となり、前回より1.0%増加、前年同期より4.2%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.6%となり、今期より9.1%減少。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は19.4%となり、前回より10.6%増加、前年同期とほぼ同水準。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.9%となり、今期より5.5%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は31.8%となり、前回より10.4%、前年同期より9.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.6%となり、今期より18.2%減少。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期D I値は△47.1となり、前回より3.0ポイント不足感が減少、前年同期とほぼ同水準。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は30.2%となり、前回より4.3%増加。

### 製造業

- ・今期D I値は△38.8となり、前回より15.7ポイント、前年同期より19.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は40.9%となり、前回より5.5%増加。

### 卸売業

- ・今期D I値は△28.6となり、前回より3.0ポイント不足感が減少、前年同期より3.6ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は21.7%となり、前回より4.4%減少。

### 小売業

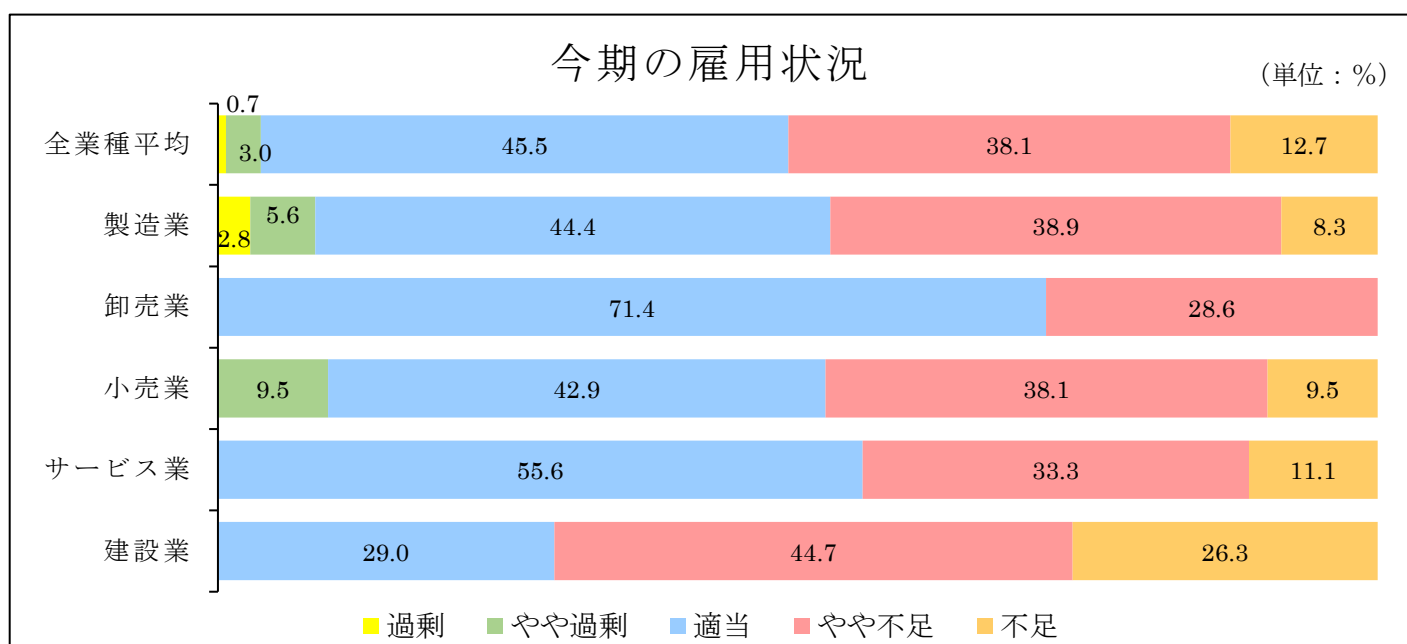
- ・今期D I値は△38.1となり、前回より21.9ポイント不足感が減少、前年同期より4.8ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は13.6%となり、前回より3.8%減少。

### サービス業

- ・今期D I値は△44.4となり、前回より26.7ポイント、前年同期より18.1ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は19.4%となり、前回より4.7%増加。

### 建設業

- ・今期D I値は△71.0となり、前回より7.2ポイント、前年同期より6.5ポイント不足感が増加。不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は40.9%となり、前回より12.3%増加。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・「受け入れている」企業は4.1%となり、前回より1.7%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は9.5%となり、前回より2.4%増加。

### 製造業

- ・「受け入れている」企業は4.5%となり、前回より1.8%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は13.6%となり、前回より5.3%増加。

### 卸売業

- ・「受け入れている」企業は4.3%となり、前回より4.3%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は8.7%となり、前回と同水準。

### 小売業

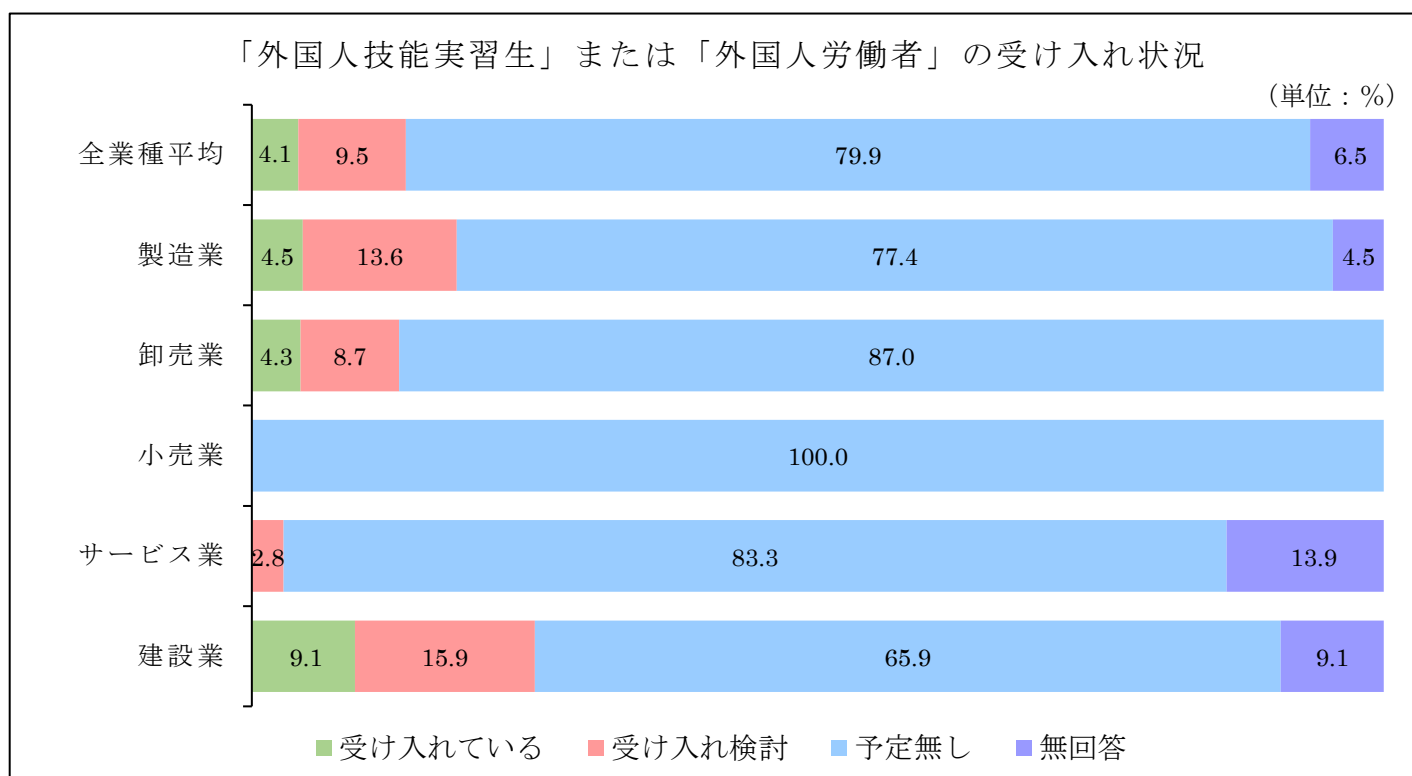
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は無く、前回より4.3%減少。

### サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.8%となり、前回より2.8%増加。

### 建設業

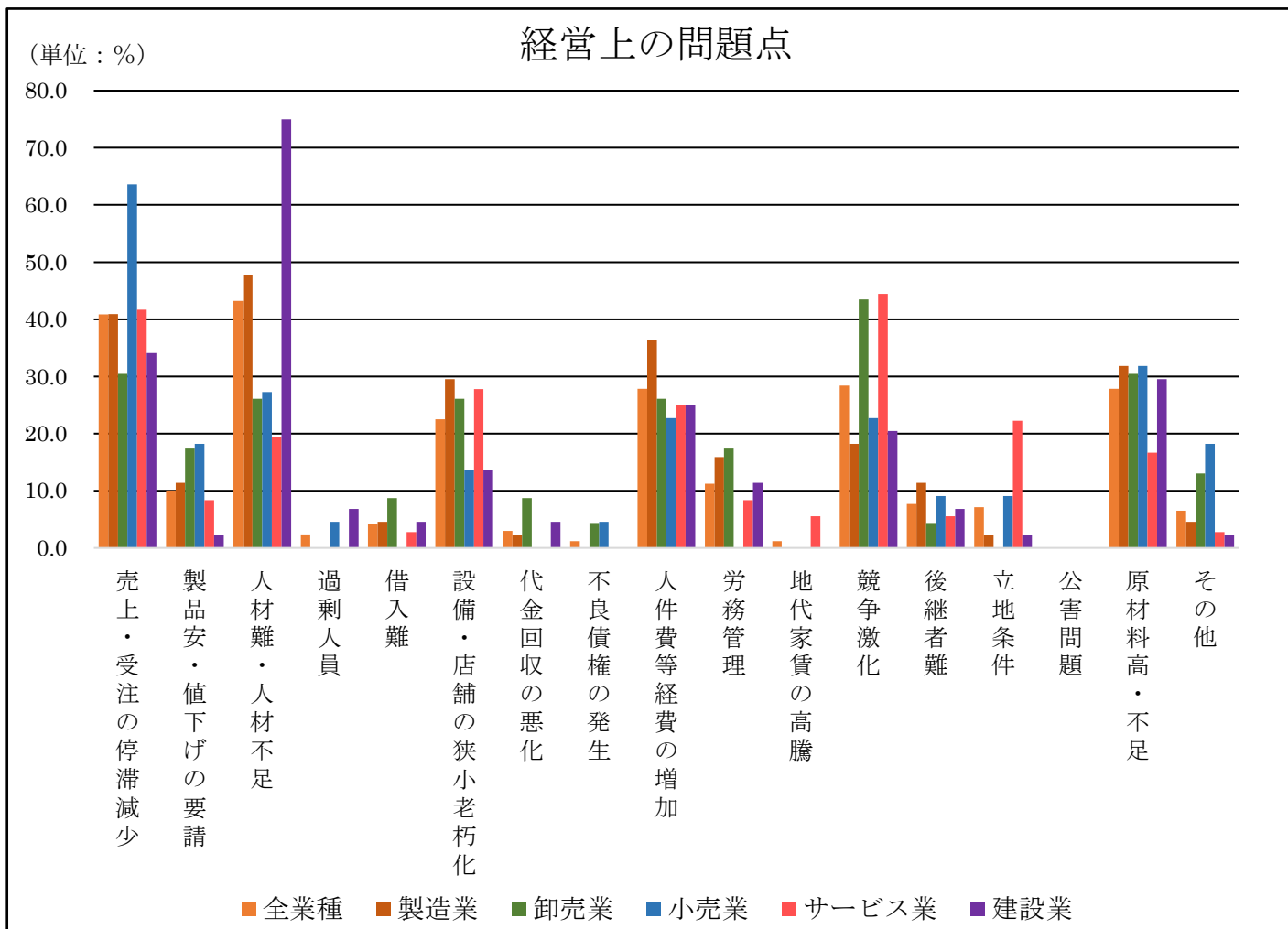
- ・「受け入れている」企業は9.1%となり、前回より6.7%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は15.9%となり、前回より4.0%増加。



## 9. 経営上の問題点

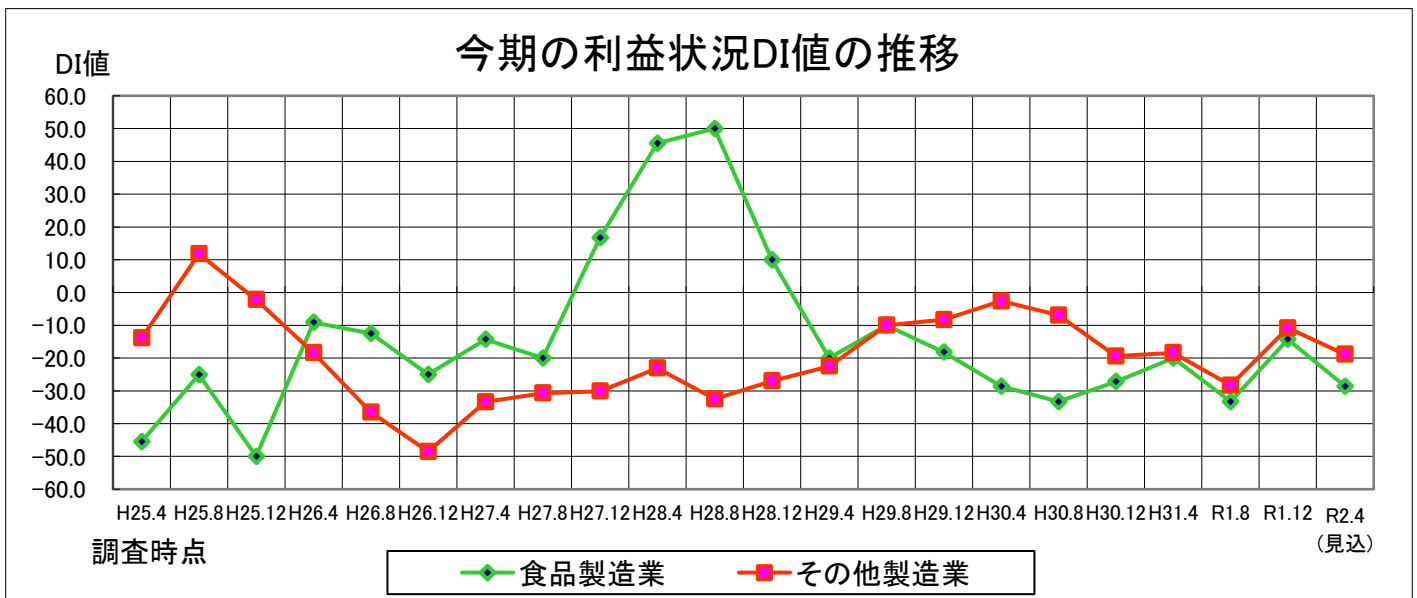
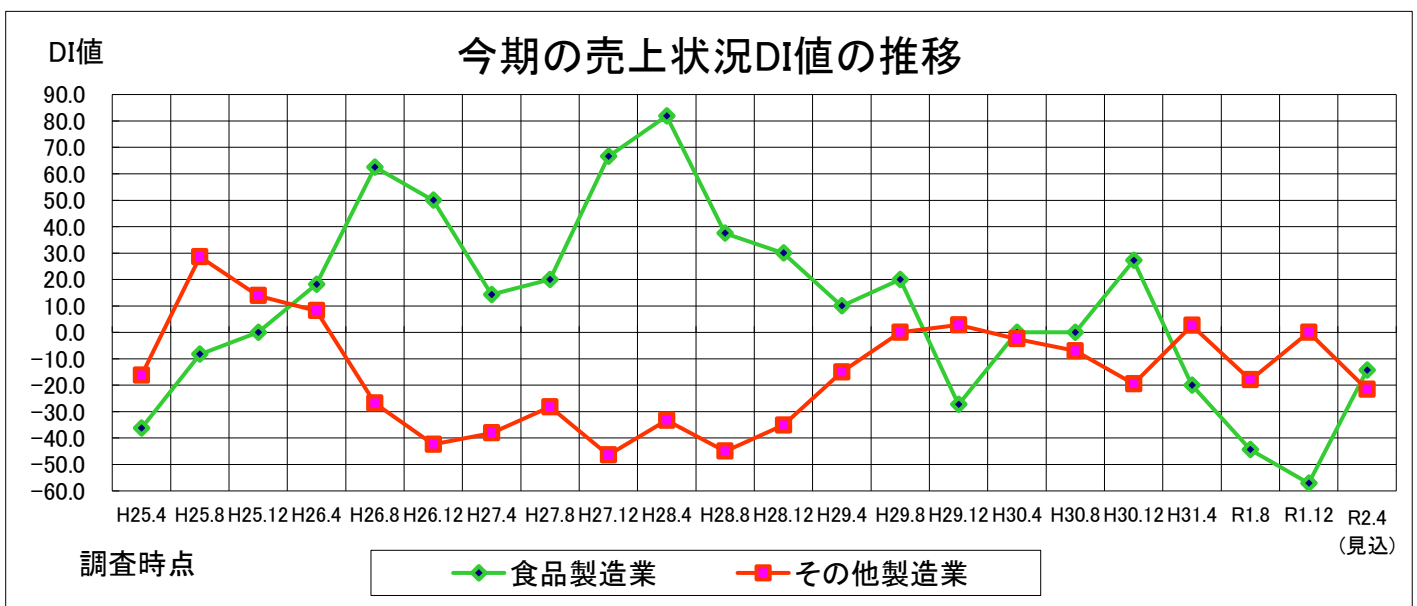
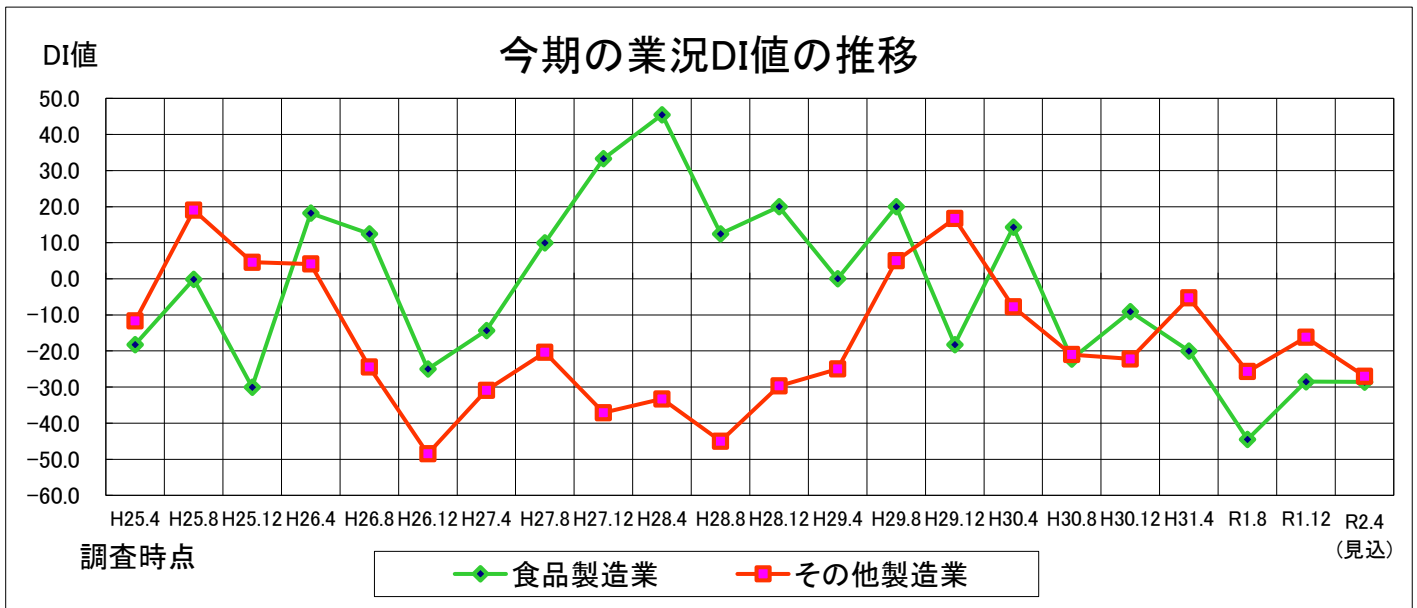
- ・全業種平均では「人材難・人材不足」が43.2%と全体を通じて最も高く、次いで「売上、受注の停滞減少」が40.8%、「競争激化」が28.4%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「消費税増税による消費の低迷や適正転嫁の難しさ」、「物流等コストの上昇」、「若手などの人材育成・教育」、「通信販売等の普及による売上減少」などに苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	人材難・人材不足 (47.7%)	売上・受注の停滞減少 (40.9%)	人件費等経費の増加 (36.4%)
卸売業	競争激化 (43.5%)	売上・受注の停滞減少 原材料高及び不足 (30.4%)	人材難・人材不足 設備、店舗の狭小老朽化 人件費等経費の増加 (26.1%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (63.6%)	原材料高及び不足 (31.8%)	人材難・人材不足 (27.3%)
サービス業	競争激化 (44.4%)	売上・受注の停滞減少 (41.7%)	設備、店舗の狭小老朽化 (27.8%)
建設業	人材難・人材不足 (75.0%)	売上・受注の停滞減少 (34.1%)	原材料高及び不足 (29.5%)



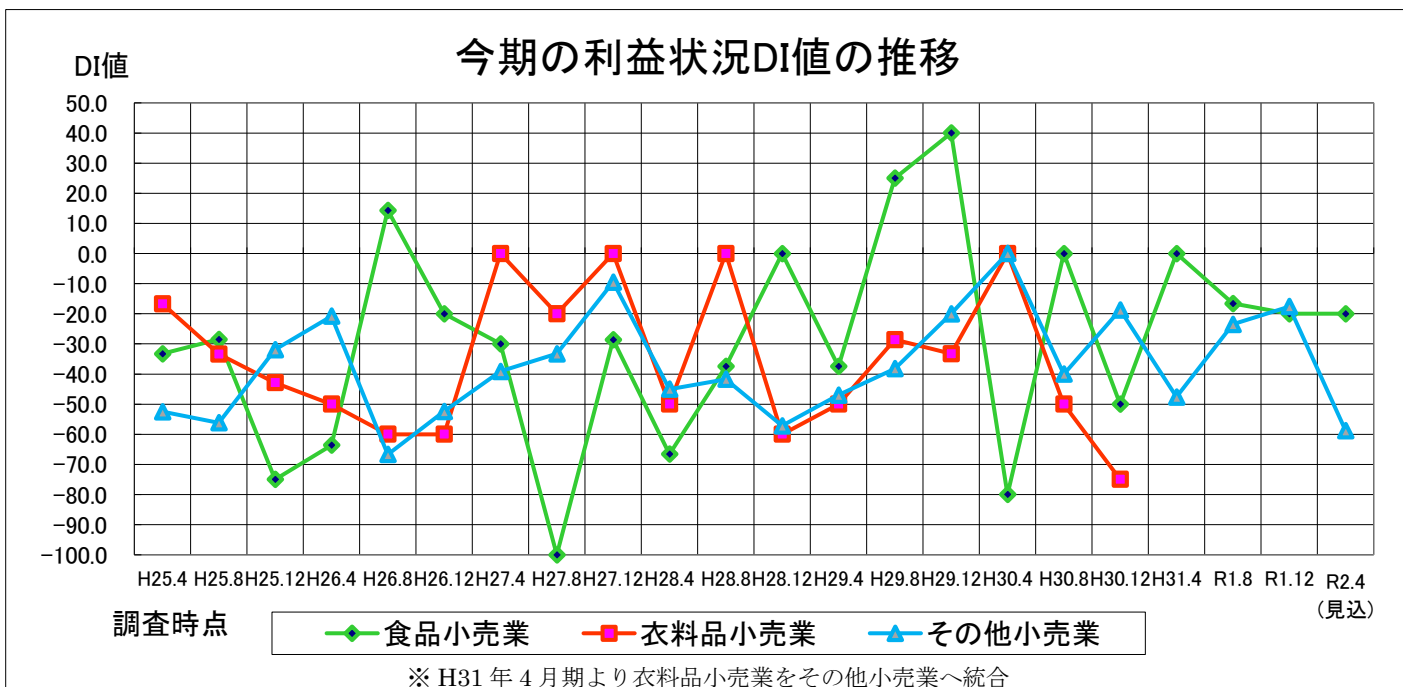
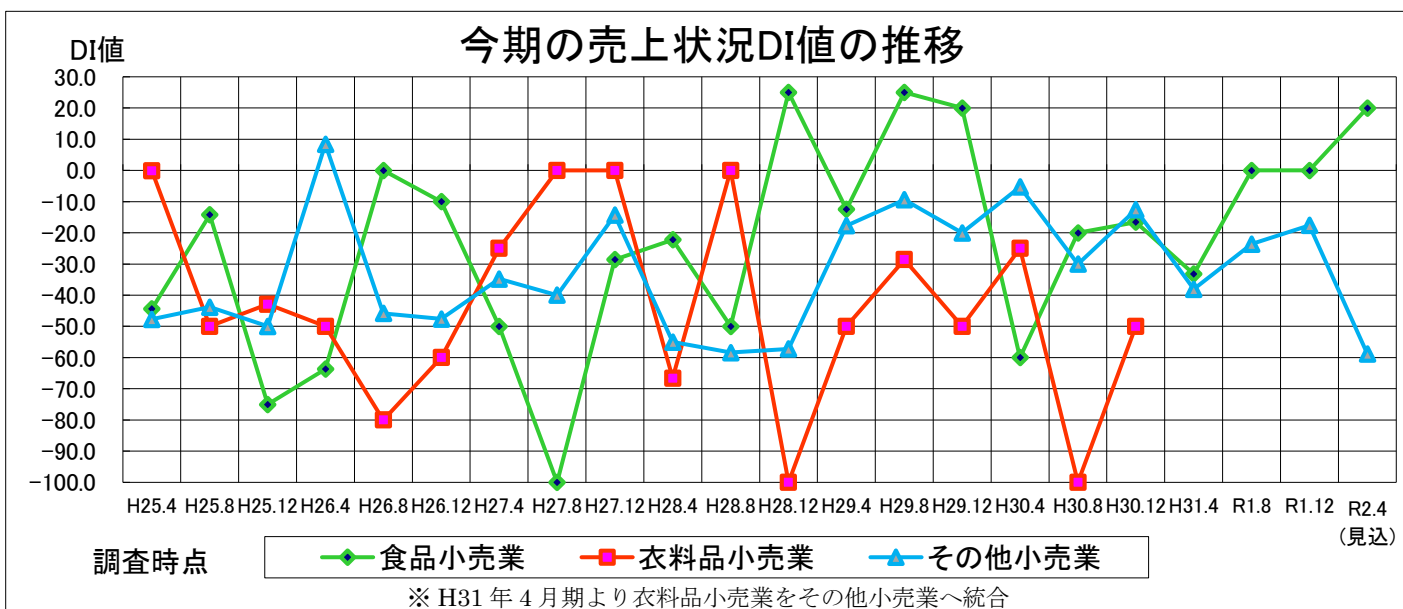
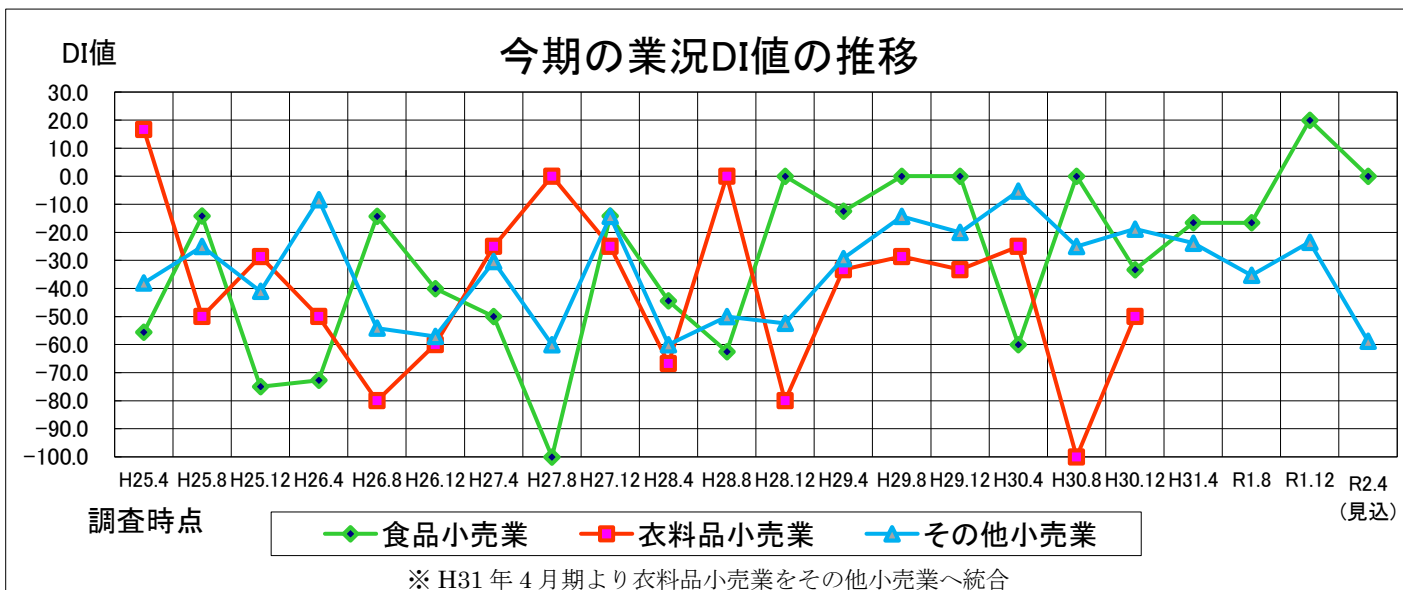
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

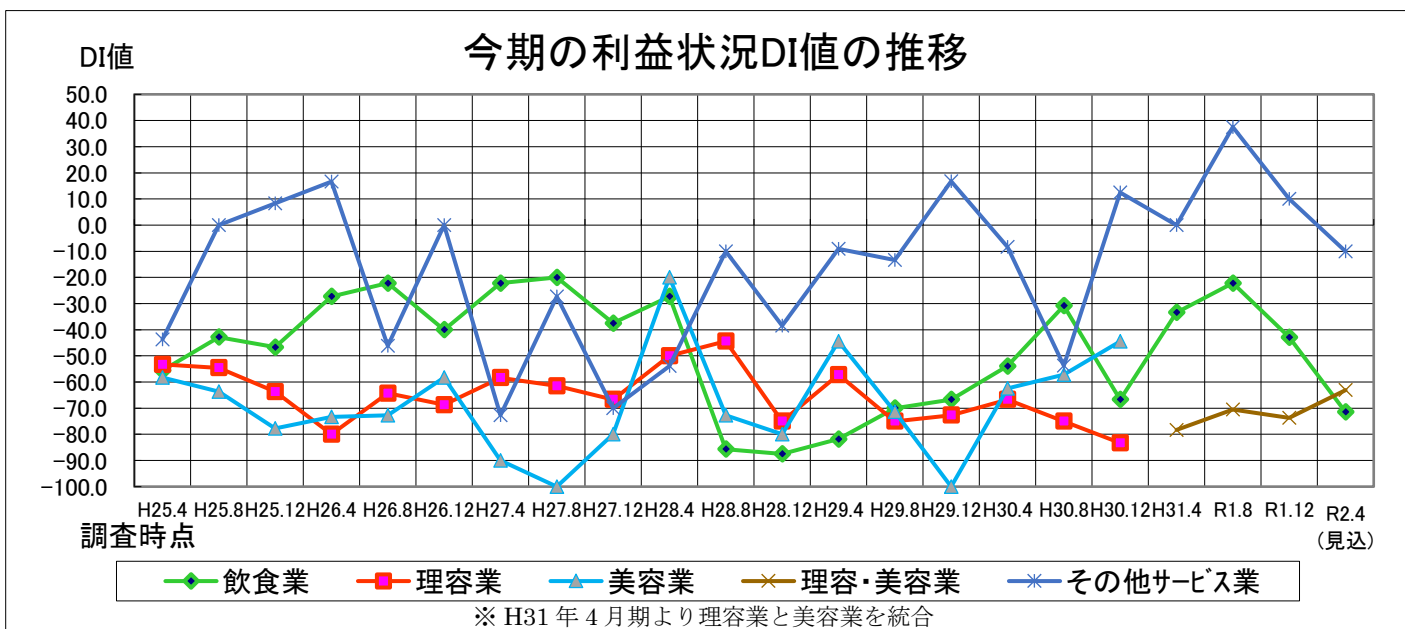
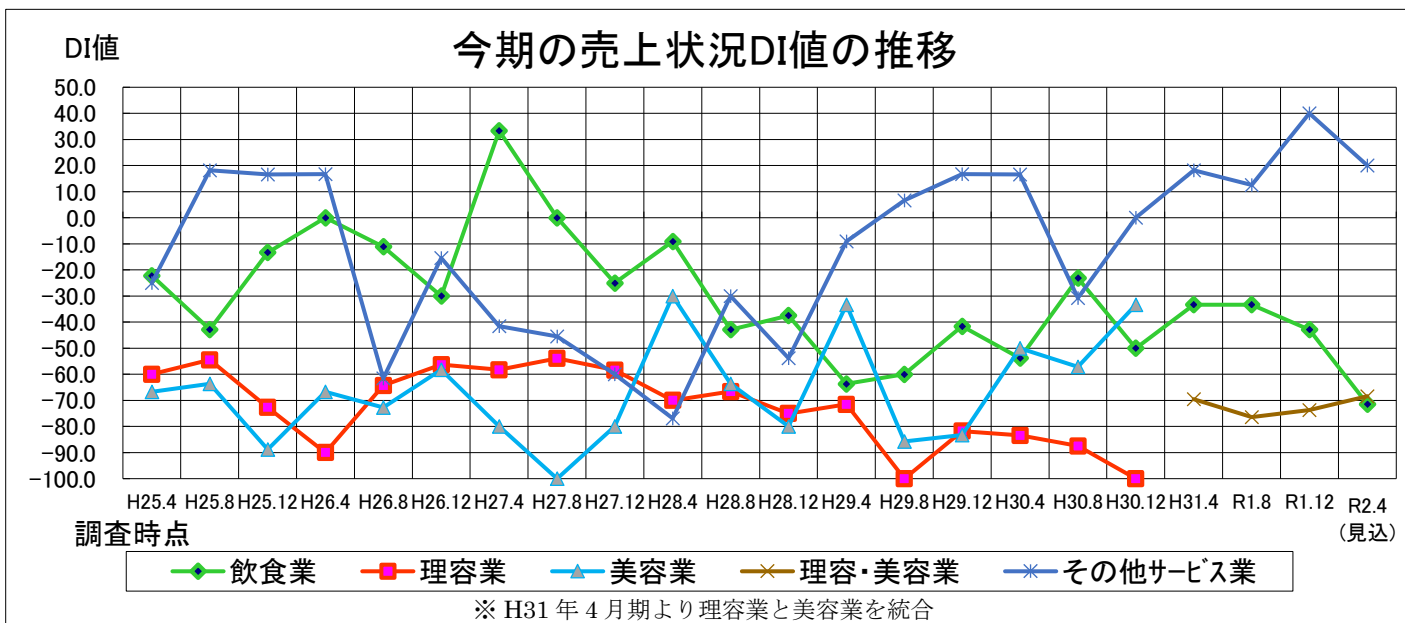
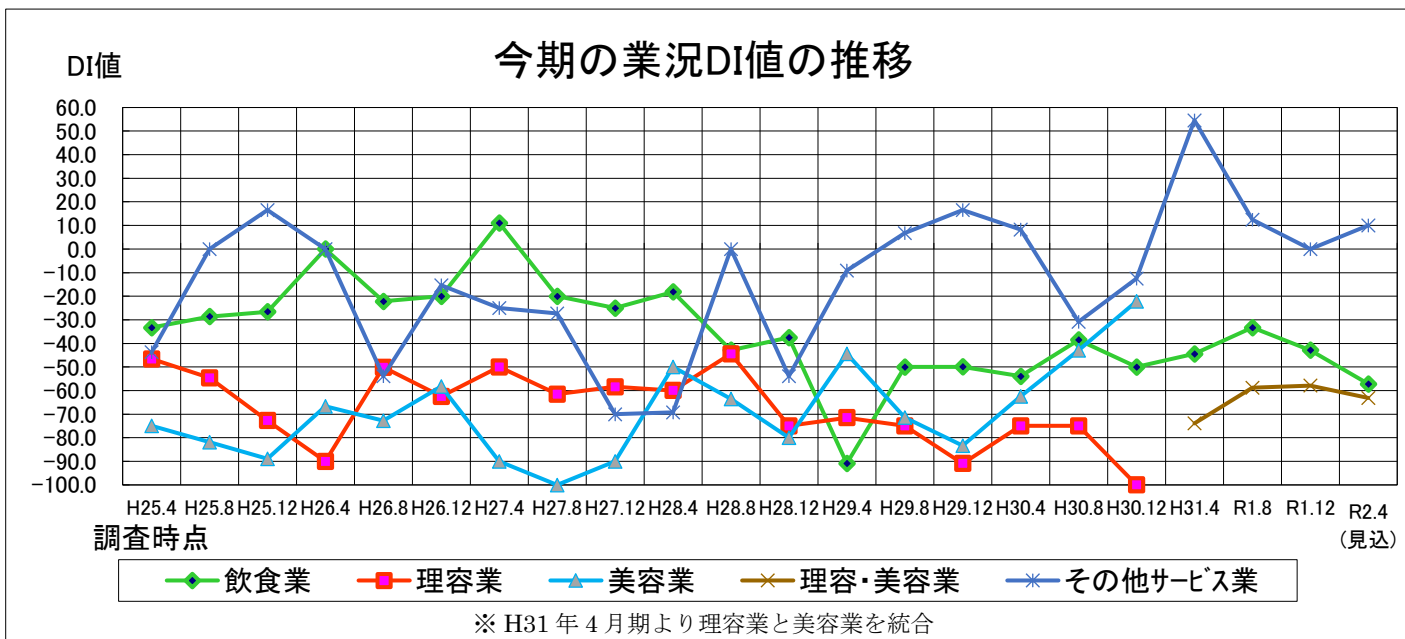




## 2. 小売業



### 3. サービス業



## 4. 建設業

